

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童デイサービスくれよん(児童発達支援)		2025年 8月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・他の部屋を使う、パーティションで区切るなどお子さんの特性に応じた組み合わせを考えてスペースを確保している。	・さらに広く使えるように工夫したい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・個別対応で安定した支援が行えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5 △ 1		・個室の設置による空間整備、支援場所の固定、スケジュールや絵カード、サイン等を用いた情報伝達など、お子さんの状態に合わせた環境設定を行っている。 ・車いす等での移動に配慮して、門から玄関までのスロープ、玄関や室内の段差をなくす等、バリアフリー化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃している。業者による床の清掃も年1回行っている。	・今後も整理整頓をしていく。 ・おもちゃ、教材、荷物置き場のロッカーの中の整理整頓もこまめに行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・パーティションで区切った個室や相談室を使用することが常に可能。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・担当の子どもに加え、日々の振り返りにより、他の子の状況が把握できる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者の皆さまにご協力いただいたアンケート調査の結果（別文書公開中）を全職員で確認している。さらなる業務改善につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員のアンケート結果を全職員で確認している。さらなる業務改善につなげていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・法人内の他の事業から、評価、改善案を提案される。 ・会計士からの評価・助言を受けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・外部研修への参加を積極的に促し、内部への情報伝達を行っている。 ・年5～6回、法人で研修を行っている。	・内部研修も充実させていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ホームページにて公表されている。必要があれば随時改善していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・全職員によるケース会議で現状把握と課題分析を行った上で、児童発達管理責任者が、丁寧に児童発達支援計画を立てている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・ケース会議を行い共通理解の下、児童発達支援計画が立てられている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・担当指導員が支援計画を確認しながら、具体的な支援を実地している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3 △ 2	1	・標準化されたツールを用いたアセスメントはしていない。日々の行動観察によるアセスメントを行っている。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインに沿った形で、それぞれのお子さんの状況・状態に合わせた支援内容を選択し、保護者や利用者のニーズに照らし合わせて設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・担当指導員が中心となり、ケース会議などで進めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・お子さんの状況・状態に合わせて、固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・事業所内での個別や小集団での活動のほか、併設の保育室との交流活動も合わせた支援計画を作成し、感染症の発生状況に応じて実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・当日の動き、活動内容、場所などを確認している。小集団活動（朝の会等）の内容も固定化しないように配慮している。	・連携した支援のため、さらに確実な打ち合わせと声がけをしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・一日の振り返りを毎日行い、情報の交換・共有を行っている。振り返り時に担当者が不在の場合は日誌や回覧で情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎回個々の支援の記録を取り、継続した支援につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・担当者の報告をもとに、ケース会議や保護者との面談等にて確認し、支援計画の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・相談支援事業所からの要請で担当指導員児童発達管理責任者が会議に参加している。 ・電話での聞き取りやモニタリングには児童発達支援管理責任者が対応している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・地域の医療機関に協力をお願いしている。 ・関係機関との連携の際は、積極的に参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・併用の保育室と併用利用しているお子さんについては、常に情報共有している。その他のお子さんについては保護者の方を通して、情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2 △3	1	・要望を受けて情報共有している。 ・保護者を通して情報共有している。 ・必要があった時（申し出があった時）には情報共有している。	・学校とつながることは少ないと感じる。どう働きかけていけばよいか悩む。 ・保護者からの要望がないと伝わらない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2 未 回答2	・児童発達支援センターとの連携は取れていないが、外部の専門家に助言をうけることができる。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		・併設の保育園と積極的に活動を共にしている。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時などの保護者との会話や活動の記録ノートによって情報を共有し、共通理解をもっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2 △3	1	・当所で行っている対応について伝えたり、家でできる支援方法をお知らせしたりしている。 ・玄関に研修情報などを貼り出しをしている	・ペアレントトレーニングとしてのプログラムは行っていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・重要事項説明書をもとに説明を行っている。運営規定等の情報は常に閲覧可能になっており、問い合わせ等には随時対応している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・面談や日々のやり取りの中で保護者の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・「児童発達支援計画書」を提示しながら、5領域に沿った支援内容の説明を行い、同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・要望があればいつでも相談に応じている。内容によっては、職員間で検討して、助言や支援を行うこともある。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者同士の交流がもて、親子でも楽しめるような機会を設けている。	・もっとこうした方が、など反省点は多い。次回に活かせるように考えていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談や申入れには可能な限り対応している。苦情対応に関する掲示やご意見箱の設置等、苦情に対応する体制を整え、重要事項説明書に明記し周知している。 ・個人的な申し入れ内容については、他の保護者に周知していない。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・法人から『くれよん通信』、事業所から『デイだより』を発行している。また、ホームページやメール・ブログ等を用いて情報発信に努めている。	・今よりこまめに情報発信していけるようにしていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・外部への持ち出し禁止を徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・一人ひとりに合ったやり方を日々模索しながら考えている。 ・担当指導員がお子さんの状態等を聞き取り、また保護者に活動の様子を伝えていく。保護者の意見の聞き取りも行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	△2	4	・地域招待の行事は行っていないが、法人発行の「くれよん通信」を年4回地域の回覧板で回して頂いている。 ・散歩時に挨拶をしている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・各種マニュアルを作成し、契約時に文書にて保護者に周知している。防犯に関して想定した訓練を行っている。改善の必要があれば職員全員で検討し、見直しを行っていく。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・事業所独自または併設の保育室や学童クラブと合同で、毎月避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・面談時のアセスメントで確認するとともに、日々の送迎時に保護者から必要な情報を聞き取っている。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4 △ 1	1	・アレルギー対応はしていない。アレルギー源に近づかない配慮はしている。 ・保護者からの情報を基に対応している。 ・指示書のあるお子さんはいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5 未回答 1		・年間計画を立て、避難訓練を行っている。緊急時の避難経路や緊急車両の呼び方など大きく張り出し、慌てず対応できるようにしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5 未回答 1		・緊急時の避難先や連絡手段、保護者の緊急連絡先など契約時に確認している。	・備蓄品についても知らせていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・日々の振り返りで報告し合い、情報を共有して検討し、改善につなげている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止委員会を立ち上げて取り組んでいる。外部研修に参加して、内部で共有している。関連する資料の読み合わせをして確認している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		契約時に説明を行い、保護者に承諾書をいただいている。また、支援計画書に記載している。	